

【学校関係者評価】

令和7年度 山形県立小国高等学校 学校評価書（自己評価・学校関係者評価）

校訓	「自律・忍耐・向上」
メインテーマ	「挑め、ともに！」
学校教育目標	<ol style="list-style-type: none"> 郷土に誇りと愛着を持ち、学び続けながらよりよい地域づくりに主体的に関わる人材を育成する。 健康で豊かな人間性を持ち、新たな価値創造に挑む人材を育成する。 多様性や個性を認め、他者を尊重しながら協働できる人材を育成する。
学校経営方針	<p>小規模校のよさを生かし「生徒一人ひとりが輝く活気ある学校」を実現する。</p> <p>*** 育成したい資質・能力 *** (学校教育目標の実現のために)</p> <ol style="list-style-type: none"> 主体性 「自己理解・自己肯定感・学ぶ意欲・計画力・意思ある選択・創造的市民性」 挑戦心 「情報収集活用能力・課題設定力・共感性・思考力・創造力・行動力・やり抜く力・伝える力・振り返る力」 協働力 「受容力・対話力・共創力・持続可能性意識・グローバル意識」

重点目標	重点取組	学校関係者評価(令和8年2月12日) 自己評価に対する評価
1 個別最適な学びと協働的な学びの 一体的充実及びキャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 本校の特色である「白い森未来探究学」や「教科等横断的な学習」、「国際教育」の実践・深化により、本校生に育みたい資質・能力を伸ばす。 AI学習システム活用を含め、ICTを活用した個に応じた指導、学習の個性化、協働的な学びの充実を図り、「確かな学力」を育む。 地域や企業・大学等と連携したキャリア教育や体験的教育活動の推進により、キャリア意識を醸成する。 個々の進路希望の実現のために、意欲的・計画的に学習に向かう態度を涵養する。 図書館等の活用や NIE実践により高い教養と豊かな心を醸成する。 	<p>学校関係者評価(令和8年2月12日) 自己評価に対する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域留学、マイプロジェクトや小規模校サミットなどを通して、個人の生き立ち・興味関心から、違う地域での友人との繋がりで広がる視点を持つことができる。競争より共創のできるバランスのよい教育を意識していると思います。 ・多様な学びができる環境に恵まれており、個性を伸ばす教育に期待します。 ・教科横断的な学びについては、令和9年度入学生からの新カリキュラム化を見据え、単なる実践数の維持だけでなく、次年度は具体的な準備期間として位置づけ、組織的な授業研究を進めてはいかでしょうか。 ・LEAFシステム等で蓄積されたデータを、個別の進路指導や面談により一層活用し、生徒自身が自分の学習状況を客観的に把握できる(メタ認知できる)機会を増やしてみたいでしょうか。 ・先生一人に対する負担が大きいところではありますが、地域の方々の力をお借りながら教育の充実を期待します。 ・一度ご提案差し上げた内容と重なりますが、「白い森未来探究学」において「熊」をテーマに探究する講座を開講することが、今求められている気がしています。 ・「白い森未来探究学」において、成果発表会等で参観した生徒の実践からは、教科横断的な学びに自然と取り組み、地域と協働している生徒の姿を明確に確認できた。 ・社会人でも新聞を読んだり、本を読んだりすることが厳しいと思う中で、小国高校の活動は素晴らしいと思います。新聞を読む習慣が定着するためどうすればよいのか議論を重ねて頂きたいと思います。 ・探究学や、サミットなど、自信を知り自身の置かれた環境について学ぶ時間が多く取られていることは、小国高校の特徴であり今後も引き続き進めていってほしい。
2 資質・一人ひとりの発達指導の充実、社会的	<ul style="list-style-type: none"> ○ あいさつの励行や基本的な生活習慣の確立に向けた援助・助言を行い、自律した社会人としての基礎固めを行う。 ○ 異なる立場や考え、価値観を理解し互いに生き活きと学校生活を送れるような取組を工夫して行い、自己及び他者を個性的な存在として尊重していく心育てる。 ○ 学校行事やボランティア活動等への主体的な取り組みを奨励し、生徒一人一人の自己有用感を高める。 ○ 継続的にいじめ防止対策を徹底することで、いじめのない学校を目指す。 ○ 社会とのつながりを生かし、地域との協力した放課後活動の充実・継続を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年、舎監等が生徒に進路のアドバイスをし山形県内の希望の進路の大学に進んだと聞いて、生徒と近い距離に地域の大人がいることで安心して挑戦できたと思います。何か行き詰まったときに相談できる、生徒から見ると面白い大人が舎監としていることが素晴らしい。地域のスポーツクラブなどで学校外の人と仲良くなってコミュニティが作れると居場所もできている例も知った。 ・地域の人や組織(企業)に関わる機会を通し、町民に認知共有できる活動に期待します。 ・ボランティア活動において、単に参加を促すだけでなく、社会参加としての責任やマナーについての事前指導を強化することを進めてみてはいかでしょうか。 ・生徒数が少ない分、一人ひとりへの指導が行き届いていると思います。小規模校の特徴を生かした指導が充実していると感じます。校訓に掲げている内容に向けた指導を期待します。 ・本来であれば各家庭で行われるべき教育、及び小中学校での教育を経て高校生になっているはずですが、現実はそのようなようです。しかしながら3年間生徒に表れる変化に驚かされる時もあり、成長のタイミングは人それぞれなのかと感じる面もあります。 ・社会とのつながりを生かし、地域と協力している教員、生徒の姿は高く評価できる。 ・様々な活動を通して、生徒達が社会人への一歩をスムーズに移行できるように今後も教育の質をあげて頂ければと思います。 ・生徒数も少ない中で、先生方の手厚いサポートがあるように見受けられる。
3 安心・安全かつ信頼 される学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「地域とともにある学校」としてのコミュニティ・スクール運営やPTA活動を実施し、学校・家庭・地域が一体となった活動を工夫して行う。 ○ 特色ある教育活動や生徒の活躍の姿について発信方法を工夫し、学校の魅力を校内外に積極的に伝える。 ○ 危機管理体制の維持及び施設設備の安全管理により事故防止に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人につき、関わる大人がたくさんいて、特に留学生は保護者が離れていても安心安全な管理体制にあると思う。物理的距離はあるので、保護者との理解度が大事なこともアンケートから分かった。高校という多様な時期に3年間留学することは大したことなので、安心・安全を第一にできていてよかった。その上でチャレンジするとゆうような小さい町なので、安心してチャレンジしてほしい。 ・PTA活動の評価において、「あまり活発とは思わない」「分らない」が約25%を占める点が気になり、今後の課題対応だと思えます。 ・現在好評のSNSやHPでの発信を継続しつつ、生徒自身が発信に関わる機会を増やすなどして、より多角的な魅力発信を続けてください。 ・学校生活での安全やいじめ問題の提起など、生徒と向き合いながら指導していると思います。安心・安全を維持しながら信頼される学校運営を期待します。 ・地域の大人との関わりを広げることが生徒の安心安全に直結すると思います。そのような面でも、「鳥親制度」的な逃げ場としての家庭の存在は、留学生のみでなく地元生にとっても居場所ともなり得ると考えます。 ・学校運営協議会における地域の方々の熱のこもった発言に触れるにつけ、信頼され、安心・安全な学校づくりに向けて学校と歩もうとする地域社会の力を感じる事ができた。 ・こまめに面談をすることにより、問題の早期発見・解決することで重大事案にならない仕組みづくりしていること素晴らしいことだと思います。全体的に高評価の内容となっているので引き続き継続していただきたいです。 ・魅力化が始まって以降、より地域に入る高校になっており、地域の大人の協力も増えているように感じる。イベントごとで高校生を見る機会も多く、うれしい。
4 教職員の協働体制の維持と 指導力向上、心身の健康維持	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種研修を通し、同僚性を高めるとともに、「伴走者」としての教員の力量向上を図る。 ○ 業務改善を図り、ライフ・ワーク・バランスの向上に努める。 ○ 休暇を取得しやすく、風通しのよい職場環境づくりを推進する。 ○ 教職員一人ひとりが働き方改革に対する意識を持ち、実行する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マイプロジェクトでの生徒自身の中から生まれたテーマを、教員の伴走によって、もう少し社会との接点、問題点を指摘して繋げてあげて、仕事とは何か(自分の好きと社会的需要)の見つけ方、続け方、膨らませ方＝努力のしかたの発見に導けるのかなと思います。 ・学校評価の管理業務で大変な面を感じますが、生徒第一のご指導を今後もよろしく願います。 ・ICTツール(Google Workspace等)の活用により業務効率化が進み、時間外在校等時間が月45時間を超える教員が「0人」となっている点は大変素晴らしいです。来年度もICTツールの活用を積極的に取り入れ、業務効率化を進めて、時間外在校等時間が月45時間を超える教員が「0人」を継続していただきたいです。 ・会社でもそうですが、運営する側の体調が非常に重要です。きついことも多々あるかと思いますが、自分の身は自分で守りながら指導に励んで頂きたいです。 ・学校運営協議会だけではなく、マイプロジェクトや地域サミット後のワークショップでも御校の先生方とお話しする機会がありました。そこで感じたのは教職員の皆さんの学びに対する前向きな姿勢です。教職員間のコミュニケーションが円滑に行われていることの証左だと感じました。 ・先生方の負担が減少している傾向は良い兆候と感じられます。負担軽減により生徒と向き合う時間が増えているとのことなので、より良い学校生活が送れるよう頑張ってください。